

メンバーの手によるアレンジの妙技！！ 6つの楽器のスーパー・アンサンブル

ゼクステット 魅生瑞

ピアノ、フルート、オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴットの六重奏団

●グループ名「ゼクステット 魅生瑞」の「魅生瑞」は、「ミュージック」の語源でもあるギリシャ神話に登場する音楽神「ミューズの女神たち」にちなんで名づけたのですが、3つの漢字によって「瑞々しい魅力が生まれ得る」という意味をも表しています。「ゼクステット」とは「六重奏団」のことです。

●1987年「ピアノと管楽五重奏団織笛」のファゴット奏者、大滝雄久が「その織笛が結成10年を迎えたのを機に今度はその経験を生かして同種のアンサンブルを若い人たちと創ってみたい」と考え結成したグループです。翌1989年にデビュー第1回定期演奏会を開催し、今回のコンサートで26回目の定期演奏会を迎えます。メンバー全員がアレンジャーとしても活躍しています。

●1997年には、劇団「無名塾」のベテラン役者、入鹿尊との共演で「見果てぬ夢■役者・入鹿尊 リサイタル」を、お茶の水スクエア「ヴォーリズホール」で行いました。

●1990年には初CDアルバム第1弾「ワン」、第2弾「魔法

の笛」(株)日本光ディスク/山崎達朗エンジニア)をリリース。

●「NHK・FMコンサート」「蓼科音楽祭」「大宮ソニックシティ大ホール主催コンサート」「山形県国際音楽祭コンサート」「NEC新本社スーパータワービル完成オープニング・セレモニー」「ヤマハ合歓の郷コンサート」「秩父ミュージックパーク音楽堂オープニング式典ゲスト演奏」「茨城県吹奏楽連盟主催コンクールのゲスト演奏」「横浜共立学園主催記念コンサート」「信州鹿教湯温泉主催コンサート」「コブとうきょう新宿主催コンサート」「才能教育研究会神奈川地区ピアノ研究グループ主催コンサート」「横須賀市民文化財団主催コンサート」「APA河口湖音楽祭のゲスト講師&ゲスト演奏会」「秩父音楽祭2006/2007室内楽コンサート&クリニック講師」「おやぢコンサート/菅原元彦主宰2004年/2007年/2013年の計3回」と依頼公演も多数行っています。

●上記とともに「一葉会」「岡田音楽事務所」「(株)重本音楽事務所」「永谷音楽事務所」「(株)ニュー西北エンタープライズ」などからの依頼コンサートも多数行っています。

あつという間の30年、それではお祝いに再演曲を！
第25回コンサート「お客様よりのメッセージ」から

■結成30年ほんとうにおめでとうございます！ 長く続けるって素晴らしい！ 木管とピアノの音が織りなすアンサンブルは耳に心地よく、聴いていてうっとりしますね。「マ・メール・ロア」は大大大好きな曲です。「レドロネット」はきらびやかに輝いていて「妖精の園」はじわじわと盛り上がるラストが狂巻で感動しました。5分間リサイタルはどれも個性溢れる曲ばかりで充実していました。ピアノ大滝良江さんのカッチーニ (arr. 大瀧善久) の「アヴェ・マリア」素晴らしかった。息子さんのアレンジを弾いている姿は涙が出そうなコラボレーションですね。オーボエ富田和子さんの「リベルタンゴ」も大好きな曲です。バンドネオンの音とオーボエの音色は共通するのでピアソラの曲は合いますね。ファゴット大滝雄久さんのフォスター「夢路より」はとても懐かしかった。ファゴットの音色は心にしみ入ります。クラリネット山本靖子さんのヘンリー・マンシーニ「子象の行進」はクラリネットにピッタリです。カッコいい！ ホルン阪本正彦さんのハートレイ「メディテーション」は初めて聴きましたが、心の奥深くに入りこんで来るような良い曲ですね。フルートは松任谷由実 (arr. 丸山和範) 「春よ、来い」フルートだと更に春感が高まり柔らかで華やかがありました。アルヴェーン (arr. 阪本正彦) 六重奏曲「夏至の徹夜祭」は場面を想像しながら楽しく聴きました。盛り上がりも沢山あって民族舞曲風だったりバグパイプ風なメロディも垣間見えたり、おもちゃ箱みたいで楽しい！ 皆さん休む所も少なくご苦労様でした。 H.K. (所沢市/女性ピアノ講師)

夏の日々の牧歌と、スカラムーシュの物語！ 第26回

■今回はフランス作曲家作品が並びますが、内容をみると羽生結弦さんのスケート演技曲、中近東や西洋の風景物語そしてブラジル舞曲があったりと、バラエティに溢れているかと思われれます。5分間リサイタルは各自短めを予定ですが…。

ルーテル市ヶ谷センター

〒162-0842 新宿区市ヶ谷砂土原町1-1 ☎03-3260-8621

●JR総武線「市ヶ谷駅」徒歩5分 ●地下鉄有楽町線「市ヶ谷駅」徒歩1分

ルーテル市ヶ谷センター

